

Ally Athlete
Journal

#02



※本事業は、プライドハウス東京アスリート発信チームが
公益財団法人日本財団より助成を受けて実施しています。

アライアスリートとは？
What's "Ally Athlete"?

アライ (ally) とは、同盟、味方などを表す言葉です。
LGBTQ+ 当事者の味方として、
ともに行動する人たちを総称してアライといいます。
LGBTQ+ 当事者も、アライアスリートになることができます。

アライアスリートは、LGBTQ+ の課題についてともに考え、
スポーツ界から社会を動かすアクションをしていくアスリートです。

プライドハウス東京は、全3回のトレーニングの機会を設け、
多様な人が自分らしくスポーツできる環境づくりを目指す

アスリートの輪を広げていきます。

アライ
アスリートの
輪を広げよう。Expand the
"Ally Athlete" circleアライアスリート
としての活動Activities of
"Ally Athletes"

誰もがありのままでプレーできるスポーツ界、
そして自分らしく生きられる社会の実現を目指して、スポーツの力を
活用して、プライドハウス東京と一緒にアクションをしてくれる
「アライアスリート」を募集しています！

1 全3回の
トレーニングへの参加

全3回のトレーニングを通じて、LGBTQ+ とスポーツの課題について知り、
ともに考える機会や、社会やメディアに対する効果的な発信について学びます。

LGBTQ+ の基礎知識と国内の動き

実施日 2024年8月26日(月) 19:30-21:00

LGBTQ+ 当事者アスリートから学ぶ

実施日 2024年9月18日(水) 19:30-21:00

アライアスリートのアクションを考えよう！

実施日 2024年10月を予定

※開催日時は変更となる可能性があります。
※全3回を終了後、プライドハウス東京より「修了書」をお送りします！
※研修はハイブリッド形式で行う予定です。できるだけ多くの方に会場にお越しいただきたいと
考えています。また、止むを得ず欠席をする回がある場合は録画を視聴いただきます。
※参加に費用はかかりません。

2 プライドハウス東京と連携した
LGBTQ+ に関する情報発信

トレーニングを修了された皆さんと、スポーツを通じてLGBTQ+ について
知ってもらい考えてもらう機会を作りたいと思っています。

3 プライドマッチなどの
アウトリーチ活動への
訪問・トークショー等への登壇2年目となった2023年度には合わせて35名の
現役／元トップアスリートがトレーニングを修了し、
さまざまなアクションを一緒にいただきました！

活動実績

Past Activities



アウトリーチ活動／イベントでの登壇

2023年7月21日～23日 プライドハウス福岡

7月21日 福岡市市長訪問・意見交換

7月22日 世界水泳選手権2023福岡大会会場の

ブースでの情報発信

7月23日 プライドトークショー

「水泳界からLGBTQ+ インクルーシブな社会を目指して」

2023年10月13日

東京レガシーハーフマラソン2023における

ボランティア向け勉強会

2024年2月18日

SportsxLGBTQ+

「ユースと考える、だれもが安心・安全に楽しめる

スポーツのためのカンファレンス」

LGBTQ+ 研修への登壇

2023年11月12日

吉川市講演

2024年2月17日

羽村市男女共同参画フォーラム

アライアスリート
メッセージ動画への出演

2023 アライアスリートメッセージ

<https://youtu.be/phnDXpKfMPU>水泳界からの
アライメッセージ動画<https://youtu.be/nrjqmbn6DT0>アライアスリートウェブサイトへの
メッセージの掲載<https://pridehouse.jp/allyathletes/>

お申し込みはこちらから

URL

<https://forms.gle/Np2iZbYbz14okGy18>

お申し込み期間

2024年8月5日(月)12時まで



※以降については個別で相談

お問い合わせ

プライドハウス東京アスリート発信チーム

EMAIL

sport@pridehouse.jpアライアスリートが
知っておくべき
LGBTQ+ の基礎知識Basic Knowledge of
LGBTQ+ for
"Ally Athletes"

基礎用語

LGBTQ+ (エル・ジー・ビー・ディー・キュー・プラス)

性的少数者を総称するとき使用されます。
レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、
トランスジェンダー (Transgender)、クィア (Queer)
またはクエスチョニング (Questioning) の頭文字を取り、
LGBTQ+ だけに収まらない性の多様性をプラス (+) で表現しています。

レズビアン (Lesbian)

性自認が女性または女性であることにつながりを感じる人で、
女性に魅力を感じる人

ゲイ (Gay)

性自認が男性または男性であることにつながりを感じる人で、
男性に魅力を感じる人

バイセクシュアル (Bisexual)

男性と女性の両方に魅力を感じる人

トランスジェンダー (Transgender)

出生時に割り当てられた性別と、自認している性別に違和がある人

クエスチョニング (Questioning)

性的指向や性自認を決められない、分らない、あえて決めない人

クィア (Queer)

性的指向や性自認が多数派ではない人

SOGIE (ソジー)^{※1}

性的指向^{※2} (Sexual Orientation)、性自認^{※3} (Gender Identity)、
性別表現^{※4} (Gender Expression) の頭文字を取った略称。

※1 ここに身体構造における性的特徴 (Sex Characteristics) を含めて SOGIESC (ソジースク)
と言われることもあります。性を構成する4つの要素です。

※2 ある特定の個人に対する持続した魅力、つまり恋愛感情や性的関心などの性別に向かうこと。恋愛感情や性的関心を抱かない人もいます。

※3 自分自身の性別をどのように認識しているのかということ。身体的構造と必ずしも一致しているわけではありません。

※4 言葉遣いや服装、振る舞いなど、社会の中で表現している自身の性別。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、
LGBTQ+に関する理解を広げることを目指し立ち上がったプロジェクト。

(2023年4月にNPO法人化)

NPOや個人、企業や大使館がコンソーシアムとなり、
個別のテーマに基づき8つのチームに分かれて活動しています。

「アスリート発信チーム」では、LGBTQ+とスポーツの接点から
誰も排除しないLGBTQ+インクルーシブなスポーツ環境づくりと、
スポーツを通じてLGBTQ+に関する情報発信を行っています。

<https://pridehouse.jp/>